

木材の特徴(キャラクターマーク)

木は生き物であり、その長い生育の過程は千差万別です。

そこから切り出された木材の表面には、それを象徴する様々な“キャラクターマーク”が現れます。それらは木にとっては自然の産物なのですが、木材を使用する我々にとっては、強度の面や美観の側面から、時として欠点として扱われる要素でもあります。木材はその国ごとに欠点の基準あり、それによるグレード分けがなされています。表面の欠点を全て除いた木材は、当然見た目にも美しく、その強度面でも安定して使いやすい材料といえますが、一方で欠点を全て除いてしまうと、木材の生き生きとした生命感が失われて画一的になってしまいますし、材料の多くの部分を除いてしまうため、決して効率の良い使い方とは言えません。



心材と辺材

心材は中心から辺材までの部分で通常濃色、辺材は外周に近い淡色の木質部分。



杓

渦を巻いたり、ねじれの生じた木目。節ではない。



ガムポケット

チェリー特有の金筋に似た木目に沿って入る変色。日本では脂壺と言われている。



ミネラルストリーク(金筋)

一般に木目に沿って走る、淡緑色から濃褐色など様々な色の変色。



グラスウーム

金筋に似た変色が散在。アッシュによく見られます。



スティッカーマーク

乾燥工程で入れた算木の跡がついたもの。プレーナー加工で除去できる表面的なものを言います。



入り皮
木目に樹皮が入り込んでいるもの。



バーズベック
鳥がつついたために木目に小さくキズが入ったもの。入り皮になっている場合もある。ヒッコリーとエルムでは欠点とみなさない。



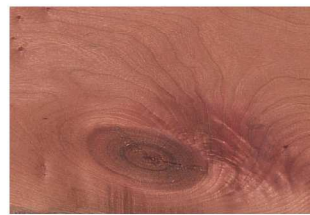
干潮れ
乾燥工程で乾燥が適切に行われなかった場合に生じる。



くざれ
菌類によって木質が劣化すること。辺材の変色が目印。



筋
木目が円を形成していて髄がある。大枝や小枝が幹から出ていたところ。(節穴になっている場合もある)



木き筋
木質の劣化がまったく見られない、しっかりとした節。



割れ
乾燥途中で生じる長手方向の割れ。年輪が分離するものをシェイク (shake) という。



ステイン
乾燥工程で材の間に入れた算木によって生じた変色。灰色がかかった色合いが一般的。



丸み
原木が丸いがゆえに生じる、樹皮のついた板、あるいは角が出ていない板。



穴
1/4から1/2までの穴。



髄
木の中心にある軟らかな部分。



虫穴
1/2を超える穴。

当社では、これらの欠点に関して品質基準に沿った様々なグレードの木材を取り扱っております。また近年では、欠点といわれるキャラクターマークを意図的に取り入れて、ナチュラルデザインを前面に出したモノづくりも盛んに行われてきており、そういったモノづくりにも積極的に関わる事で、貴重な天然素材の有効活用を図っております。

資料提供：アメリカ広葉樹輸出協会